

磐城時報

廿八日 八日刊

福島縣石城郡平町三丁目
編輯兼發行人 岡田 弘成
印刷所 加納印刷所
印刷 加納印刷所
發行所 磐城時報社
一部金貳圓一月金卅圓
廣告料行本字詰金五十圓
日刊日曜日休刊

磐越線列車轉覆慘事

仙境・修羅場に一變 凄慘味漲る遭難地

昨夜夏井川溪谷付近の椿事

死傷者五十名に上らん

廿七日午後三時五十分郡山發着の磐越線列車が、夏井川溪谷付近で、急激な暴風雨に襲われ、列車は急激な速度で、夏井川に墜落した。この時、列車は、磐越線の上り第廿號旅客列車(復舊して廿八日午前四時半に客車四輛、貨車三輛)平町六至つて現場との連絡もつき、地時二十二分)が折柄の暴風雨に元青年團、消防組と小野新町、離行を續け神保川前間で三十平兩署及び福城と水鐵兩運輸事分立往生(の)の遅延を回復務所協同して遭難者の救援、死せんと四〇〇〇分の一の下体收容を開始大半は川前驛前小急勾配を小川驛目指して、葛學校及び附近民家に收容手當て進し六時十分ころ川前小川驛を加重、重傷者は郡山市太田病間二十二キロ七分の地點である院ならびに小野新町春山醫院に上小川村宇牛小川地内に差しか折返へし運轉で入院手當て、加るや豪雨と山崩れで線路がメへてゐるが、今朝七時までに判テヤクに破壊されてゐた、め明した死傷者左の通り。

遭難者氏名

今朝七時現在

判明の分

別項!この磐越線川前小川驛となり午後七時ころ機關車が郷間の列車脱線轉覆大慘事は當現場まで出動して初めて慘事發線區技術者及び線路工事等約四風雨のため切斷されてゐた、漸やく八時ころであつた、平驛に石炭ガスを満載した貨車十二定の時間三十分を経て前記二給同所から大木運轉主任、山の輛を連結現場に急行したが、赤〇號列車が到着しないので大驛内經理主任、佐藤庶務主任は

生きながらの地獄

救援作業困難を極む

後藤平驛長、江尻保線區主任、山中鐵道治療所主任、酒井、松村、藤沼、赤羽各開業醫の補以下署員十余名、井上平消防組頭外組員十余名が平驛發して重なり車体は大半破壊され名を安全地帯に移したが、それ激せしめてゐる。

増水した夏井川の水中に没しに、乗つて輕傷を負ひながらも傷倒人事不省に陥り直ちに太田病に次位連結の手荷物緩急車はその手に屈せず車内から脱出した水院に收容され、また荒井氏も苦上に折重なり、第二、三等混合車に掛り事務所事故係荒井松藏氏と協痛激しく午前六時半驛に歸つた列車及び三等列車はさらに手荷物鐵道員の仕事のため取然としが身を捨て、乗客のために盡し物列車の上部に屋根を逆に轉覆て遭難者の救出避難に當り十數名美しい行為は關係者一同を感して重なり車体は大半破壊され名を安全地帯に移したが、それ激せしめてゐる。

不慮の死に遭つた

西村屋 鈴木邦三郎氏

我が身の傷手を忘れて

救援に盡した鐵道員的美談

遭難した列車には別項村屋の若主人でその死を惜まれ、如く漆炭運轉課長、縣耕地である。また即死した齋藤榮三郎氏は、平町四丁目勇屋下駄店主で努力奮闘十數年來不遇續きの家運をよく挽回、現在では平町斯業界の隨一として誇つてゐたもので計らざりし死に直面したものは大黒柱を失つて悲痛の涙にむせんでゐる。

復舊までに尙三日

多数の死傷者を出して

茫然たる大木運轉主任

工事列車の救援指揮のため現場に向つた大木運轉主任、佐藤庶務主任等は負傷者である荒井事務主任等を見守りつつ、午前六時、二等車には私の外に炭礦關係らしい人二人乗つてゐたので「ドウした」と怒鳴つて見ましたが答へはありませんでした、どうやら傷も輕いので救援に助力しましたが何せこんな経験は鐵道在職廿年の私にも始めて、未だに「あの瞬間」の恐怖が胸から離れません。

恐怖を語る

遭難の荒井氏

「さすがに暗然として語つた。遭難の荒井氏は遭難談を語るに、大木運轉主任は、茫然たる大木運轉主任、佐藤庶務主任等は負傷者である荒井事務主任等を見守りつつ、午前六時、二等車には私の外に炭礦關係らしい人二人乗つてゐたので「ドウした」と怒鳴つて見ましたが答へはありませんでした、どうやら傷も輕いので救援に助力しましたが何せこんな経験は鐵道在職廿年の私にも始めて、未だに「あの瞬間」の恐怖が胸から離れません。

科外 上田醫院

四倉署管内組頭會

- 一、火災豫防に関する件
- 二、消防用機械器具手入に関する件
- 三、消防精神涵養に関する件
- 四、水利調査に関する件
- 五、秋期消防檢閲に関する件
- 六、第六回防火運動實施に関する件
- 七、交通安全デモ實施に関する件
- 八、啣筒操法に関する件

再び豪雨郡下を襲ひ 惨たる水禍の跡

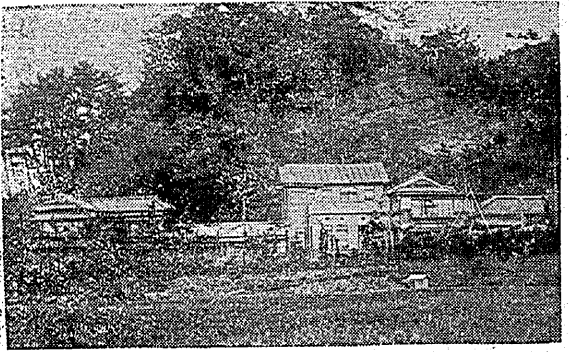
道路、橋梁、港灣の被害甚大 総額二十萬圓を突破せん

再び郡下一帯を襲ふた昨日の豪雨は未嘗有の惨禍を至る所に生れてゐる。雨は大自來の暴威をふるつたがうち平土木監督所關係の主なる被害左の如く草野村六十枚橋(延長八十米)流失を筆頭に

延長八十米 流失を筆頭に
橋梁流失—大浦村松葉橋、箕輪村大成澤橋、上遠野村根岸橋(二二米)同藤川橋(三七米)
道路路缺潰—(縣道)水田(平)上遠野村大平地内二十三米、石川(湯本)石住村字才鉢四五米(上遠野—植田)上遠野下根岸一—米、同石住村中山七四米、上遠野村瀧宇島廻土砂崩壊百立方米
堤防缺潰—上遠野川五〇米
交通杜絶—四倉小野新町線、上三阪—平線、小野新町—平線、石川—湯本線

上遠野村で 二名惨死す

根岸橋流失して
上遠野村大字根岸地内は上遠野川筋の汎濫から植田停車場に通ずる根岸橋が流失、これがため同村宇川畑農源次郎妻植田トク(五五)及び大字深山田宇福井農武三三男江尻武康(二三)の兩名は無惨の死を遂げた。



清涼の小瀧へ!!!

□宿泊料 1.50 2.00 2.50
(御滞地は上肥料金にて中食料を含ませます)
□日歸浴席料 20
□自炊料 50—80(入湯料・室料・夜具料一切)
□料理一定食 80 1.00 1.50
その他一品料理・洋食
□湯効 神経痛・リウマチス・胃腸病・痔疾
婦人病・逆上・中風・脂腺病
(内務省東京衛生試験所検定)
□諸設備 撞球臺・高級ラヂオ・大廣間・讀書室
近代式浴場と洗面所・水洗式便所
小動物園・御子様運動器具
□名物 川魚料理(うなぎ・鯉) 蜂蜜羊かん
いちご羊羹
女中數名入用
常磐線湯本驛下車・小瀧 鑛泉
御旅館 瀧乃湯
電話(小名濱)103番

耳鼻咽喉科専門 鈴木醫院

醫學士 鈴木正男
平町田町藤田女學校前
(電話五八番)

おでん

始めました
自慢のすし・天ぷら

一文字

堂食

速 迅 前 出

平警察署通り

平町田町(電話五二三番)
高久病院
醫學士 高久忠
新瀧醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

産科 婦人科 花柳病科
平町田町(電話五五九番)
井坂醫院

親切は「理髮・東京」の出発点
誠實は「理髮・東京」の生命線

理髮 東京

平町三丁目警察署通り

かまぼく

折詰屋

平町一丁目(電話一四二番)

秋の流行洋品

新柄シヨール... 豊富陳列
ソフト帽とネクタイ... 多数取揃
優良毛布とパンヤ枕... 豊富
毛織新型子供服とグレイズメント

ツルヤ

平四 電一四〇

車の御用命なら

何でも昭和タクシーへ!!!
車は新車「安全で迅速」料金は「低で確實」
親切を賣るのが昭和タクシーの信條です。
可愛がつて載ります。

平 昭 和 タクシー
電話 三四〇番

漆器と家具は

和久井屋

平町 二丁目
電話 四〇五番

鈴木邦三郎儀不慮の災禍により
昨二十七日午後六時二十分旅行先
に於て死去致候間此段謹告仕候
敬具

追而葬送の儀は来る三十日午後一時自宅出棺菩提
院に於て佛式に依り相替可申候
昭和十年十月二十八日
平町二丁目
兄 鈴木堅助
鈴木新右門